



春日部市議会議員
くりばら信司後援会だより

くりばら通信

<http://s-kuribara.com/>



↑携帯サイトへ

生活を守り抜く・公明党です♪

公明党が新体制になりました♪

☆新代表プロフィール 山口 那津男 (やまぐち なつお)

1952年茨城県生まれ。東京大学法学部卒。弁護士。
1990年に衆院初当選（当選2回）し、2001年から
参院議員（現2期）。防衛政務次官、党政務調査会長など
歴任。妻と1女2男の5人家族。東京都在住。57歳。

愛称は、なっちゃん。「人の痛みを分かち合うところから、すべてが始まる」と、人の話にじっくり耳を傾け、親身に相談に乗る。誰にでも分け隔てのない振る舞いは、弁護士時代から一貫して変わらない。まさに、座右の銘である「至誠一貫」（国民に対して誠実を貫き通す）のまま。

紛争後も住民の命や手足を奪う「地雷」の除去支援や、子爆弾を散布し無差別に人を殺傷する「クラスター弾」の全廃、離島支援や学校耐震化、東京大気汚染訴訟の全面解決など、“誠実な対話と行動”から生まれた実績は多い。



☆その他の新体制として、太田昭宏全国代表者会議議長、北側一雄副代表、井上義久幹事長ら本部役員が選出されました。

こんにちは、西田まこと です！

参議院議員 公明党埼玉県本部代表
西田 まこと(実仁)

日本経済再生の切り札

〈プロフィール〉

1962年生まれ、47歳。慶応大学経済学部卒。
東洋経済新報社（週刊「東洋経済」副編集長）を経て、
2004年、参議院議員埼玉選挙区にて初当選。
現在、公明党広報局長、同埼玉県本部代表。

好きな言葉は「愚直に生きる」。スポーツは、県道、バドミントン。

ホームページ：<http://www.nishida-makoto.jp/>



9月定例議会・一般質問での主張より・市井の声を市政に♪

1.水災害対策について

雨に依る災害は市民の財産権を脅かす大変な問題であり、特に昨年のゲリラ豪雨は、床下浸水または床上浸水など合計で1,318世帯という、全世帯の約1%を超える甚大な被害であり、このゲリラ豪雨を含む水災害対策を強力に進めるように求めました。

2.緑化の推進について

高齢社会にあって、お年を召した方々が真夏の暑い日にも外を歩きやすくするために広葉樹を植えるといった緑化推進を求めました。

3.市民の足の確保について

(1)高齢社会にふさわしいコミュニティバス路線の充実を。

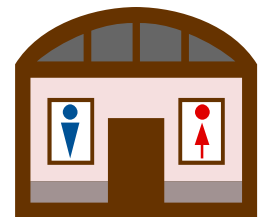
交通不便地域の解消の取り組み、計画を前倒しするように求めました。

(2)内谷陸橋に自転車も利用できるエレベーターの設置を。

鉄道によって分断化されてる地域を解消するために内谷陸橋を始め各駅などに自転車も利用できるようなエレベーターの設置を求めました。

4.学校トイレの改修について

最近の家庭のトイレは洋式は当然、ハイテクを駆使した快適なトイレが主流であり、和式に慣れていない児童達はひたすら我慢し、我慢しすぎて、時には具合の悪くなる子もいるようです。そこで学校トイレの洋式化へ向けた改修を求めました。



公明党の法律相談日

- ・弁護士によるものです。
- ・お申し込みは地域の公明党議員へ

10月	1日(木)	さいたま市
10月	9日(金)	さいたま市
10月	17日(土)	春日部市商工センター
10月	21日(水)	さいたま市
10月	29日(木)	さいたま市
11月	11日(水)	さいたま市
11月	20日(金)	さいたま市
11月	28日(土)	春日部市商工センター
12月	2日(水)	さいたま市
12月	11日(金)	さいたま市
12月	19日(土)	春日部市商工センター
12月	22日(火)	さいたま市

☆第2児童センター

「グーかすかべ」

☆第9保育所

☆子育て支援センター

市議団として主張してきた子育て支援の拠点となる施設がオープンしました。中学生・高校生の交流の場とした児童センター、保育所待機児童の解消を目的とした「第9保育所」、子育て家庭の育児不安等に付いての相談などをする場所「子育て支援センター」の3施設です。

春日部駅東口「わいわい春日部パーク」の中です。是非ご活用下さい